

# KOCHI ROTARY CLUB

2020  
2021

SINCE 1937



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度 RIテーマ

## 週報



Weekly report 第3458回

2021年4月20日 2021年4月27日発行

### ● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。高知でも聖火リレーが始まり、昨日は、当クラブの佐竹新市さんが走られました。私はフェイスブックの画像を拝見していましたが、終始にこやかな笑顔で、しっかりとした足取りで立派に完走されました。お疲れさまでした。



本日も、何人かの会員さんが走られるとこのことで楽しみにしています。このように身近な方の姿を見ると、五輪への関心が一層深まったこともありますし、一方、現実を直視すると、コロナの感染度合いはますますひどくなっています。高知を除く四国3県の感染者数も増えていきますし、大阪や東京はまた緊急事態宣言が発令されるのではないかとといった状況で、本当にオリンピックが開催できるかどうか心配なところでもあります。

やがて大型連休を迎えますが、社員に連休の過ごし方を聞いてみると、旅行の計画を立てている者は誰もいなくて、家族と家で静かに過ごすと言っていました。そんな中、私は趣味というほどではありませんが絵を見る

ことが大好きで、県立美術館にも時々出向きます。現在、5月9日までホキ美術館名品展が開催されています。これはお勧めです。ホキ美術館は写実絵画を専門に収集している美術館として2010年にオープンしました。数多くの写実絵画が展示されており、それは驚きと感動を呼び、全国各地からあるいは外国からも来館者があり、日本から世界に対して写実絵画の魅力を発信しています。

その中から選ばれた今回の64点は、絵画でありながらまるで実物を観ているような、あるいは実物以上のリアリティを感じる写実絵画の世界が広がっています。この展示会のキャッチコピー「こんな絵画観たことありますか」はNHKのニュースでも複数回取り上げていましたし、高知新聞にも度々広告が出ています。ぜひ、ご覧になってください。

本日の卓話は、ネパール人の留学生で、難しいがんと戦っているカナル・ケサブさんを応援しようというお話です。



### ■ 本日のプログラム [ 4月27日 ]

ゲストスピーチ

土佐希望の家医療福祉センター

吉川 清志 氏

「新型コロナウイルス感染症

— 正しい知識とワクチンの効果 —

会 長	中 村 裕 司
副 会 長	入 交 章 二
幹 事	関 雅 文
副 幹 事	中 澤 清 一
会報責任者	隅 田 和 稔

● **ロータリーソング** 「四つのテスト」

● **ゲストスピーチ**

**がんばれケサブ応援団  
(龍馬学園 ネパール人留学生のガンとの戦い)**

龍馬学園留学生 キエル・イエヘスキエル 氏  
グローバルプロジェクト推進室長 北古味 潤 氏

◎キエル・イエヘスキエル 氏

私は高知市に住んで1年半、いろんな経験をしました。大変だったこと、嬉しかったこと、残念だったこと、楽しかったこと、全ていい思い出ですが、留学生にとって大変なことの一つは病気になることです。家族がいなかったら誰が看病してくれるでしょうか。私のクラスメイトのケサブさんは、今高知でがん



と戦っています。去年の12月のある日、学校の寮で一緒に晩ご飯を食べたとき、「ケサブさん、重い病気ってどんな病気なの。知りたいんだけどいい?」と聞きました。ケサブさんは「がん、検査検査」と答えました。「えっそう!」と私は驚きました。「ほんとはんと、信じられない?」とケサブさんは、少し笑っていました。信じられないなら、といって胸のCTスキャンの写真を見せてくれました。それは、とても大変なことだと思いました。そして、どうすればいいか考えました。

去年1月3日、北古味さんがネパールへの旅行経験者との食事に誘ってくれて、ネパール人のクラスメイトと一緒に行ききました。食事に行く前、北古味さんからケサブさんのために応援団をつくりましょう。キエルさんは団長ができますかと聞かれました。いきなり団長と言われてびっくりしたし、何をすることも分からない。責任が重いなと思いました。団長にならなくても自分ができることをすれば、ケサブさんを助けられる。ケサブさんとは同じ教室で学んで、同じ寮で暮らして、同じ店でアルバイトもして、スポーツイベントも一緒にしました。ケサブさんは仲間です。だから、応援団の団長になろうと決めました。

クラスメイトの国籍はいろいろです。ベトナム、インド、中国、ネパール、インドネシア、でも、みんなケサブさんを助けたい。ケサブさんの命を守りたいと思っていましたので、一緒に応援団を立ち上げました。ケサブさんのために、いろんな方が助けられました。ロゴも国際デザインカレッジのデザイングラフィック学科の人が作ってくれました。

1月7日、始業式の日、ケサブさんの病気について校内放送で校長先生からお話がありました。12日、高知新聞に掲載された記事を読んだ方から、ケサブさんを助けたいと



いう電話をたくさんいただきました。13日、国見印章堂さんが銀行印を寄付してくださいました。ネパールの文字で「アマ」、お母さんという意味で、ケサブさんの好きな言葉です。私はとても感動しました。15日、タケナカダンボールさんに募金箱を作ってくださいました。募金をする人が優しく、明るい気持ちになるように、募金箱は緑で花が描かれています。テレビ高知でもケサブさんの病気のことを放送していただきました。18日、四万十町影野小学校の生徒さんたちに、ケサブさんを応援していただきました。30日に北古味さん、クラスメイトのアミットさん、私で影野小学校を訪れ、ケサブさんとオンライン交流をしました。生徒たちは募金、折り紙、メッセージを渡してくれました。24日、帯屋町アーケードで、高知ファイティングドッグスと様々な国の人たち30人ぐらいで募金活動をしました。

オーストラリア出身でALTの先生として高知に来ていたエンジェルさんは、この7月でALT契約が終了し、新しい仕事を探して県外に行く予定でしたが、この募金活動を知って高知が好きになり、こちらで就職したいと言っています。

応援団を立ち上げて2週間近くで300万円ほどの募金が集まり、現在は620万円ほどになっています。ご協力くださる方がどんどん増えて、とてもありがたく思います。今ケサブさんは、がん治療の3クール目が終わりましたが抗がん剤の効果が芳しくなくて、昨日から再入院して、新しい抗がん剤治療が始まりました。

この活動の中で心に残ったことがあります。四万十町の影野小学校の校長先生が「これから子どもたちが生きていく社会は、お互いに支え合っていくことが大事です。子どもたちがケサブさんを支援することは、いつか自分たちが支援されたり、したりする社会をつくっていく一員になるための大きな学びです」と言われました。私もそのとおりだと思いました。これから外国人が増えていく高知県では、日本人と外国人、特に留学生がお互いに支え合って生きていく機会が多くなると思います。私もこの活動を通して、外国人が安心して来られる高知県にしたい。また、たくさんのインドネシア人を高知に呼びたいと思うようになり、旅行や留学など、高知とインドネシアを結ぶ仕事をしたいと考えています。

そして、今回のケサブさんのように、高知で生活している留学生が病気など大変なことになったとき、何か使える仕組みがつくれたらいいと考えています。ロータリークラブの皆さまにも、お知恵やご協力をいただければ、私たち留学生は幸せです。どうぞよろしくお願ひいたします。ご清聴ありがとうございました。





◎北古味 潤 氏

私は昨年4月から、龍馬学園のグローバルプロジェクト推進室で勤務しています。もう一つ、ファイティンングドッグスの取締役も継続しています。



私は、いろんな海外と高知県を結ぶ取り組みを10年ほど行っていました。そんな関係で、佐竹理事長からお声をかけていただきました。政府の方針でもありますが、これからは、高知県だけでなく留学生や外国人材が確実に増えていくと思います。そこで、高知県をどのように変革して、こういった方々を受け入れられるような自治体にしていくかといったことに、今取り組んでいます。

その中の一つが、龍馬学園の日本語学科です。そこで、キエルさんとも出会いました。現在、龍馬学園の日本語学科や、自動車整備、看護、ITといったところで勉強している留学生は10名ほどいます。反面、コロナ禍で入国制限があり、ビザを取得したけど高知に來れていない学生が40名ほどいます。こういった留学生がなぜ高知県を選んだかという、ほとんどが紹介です。龍馬学園は良いから、どうぞといった形で、エージェントやその他から紹介されて来ています。

ケサブさんの病気は、昨年12月に発覚しました。彼にはフィアンセがいて、今年の12月に結婚する予定です。彼の生きたいという気持ちを、高知県の皆さんの力をいただいて、何とか叶えてあげたいという思いで、キエルさんを団長に応援団は活動しています。私も何とか彼の命を救いたいという思いで、我が家に3ヵ月ほど滞在してもらって寝食をともにしています。ただ、今の病状はなかなか厳しいということを先

週も先生から言われ、主治医は緩和ケアといったことを選択肢として、ネパールに帰った方がいいという意見です。しかし、ネパールに帰っても医療制度が整っていません。

多分効かないだろうという大前提のもと、昨日から新しい抗がん剤治療が始まっています。何クールかの治療の後、この薬も効かないということであれば、彼は一度ネパールに帰りたいと言っています。コロナの影響でご家族も高知に來れない状況でしたが、皆さんが応援をしてくださる中で、ネパール大使館や外務省にまで話が届き、人道的支援ということで特別に家族が日本に來れる手続きができるようになりました。あとは、コロナの落ち着きとご家族の状況等々、この1、2ヵ月で決断をしないとイケないと思っています。彼はもちろん諦めてはいませんので、私たちも諦めることなく支援をしていきたいと思っています。

技能実習生や特定技能という形で、今たくさんの方の外国の方が高知県に住んでいますが、私たちの龍馬学園日本語学科の留学生は、高度人材ビザを取得するために学んでいます。これから先の高知県を考えても、増えていくであろう外国人たちをマネジメントできるような存在として、彼らにはぜひ高知県に残ってもらえるように、「高知っていいところだよ」をキーワードに取り組んでいきます。そして、ケサブさんへの支援の状況などは、外国人の方たちは我が事のように注目しています。キエルさんや先ほどのALTの先生のように、外国人から選ばれる高知県を、今後も目指していきたいと思っています。

ロータリークラブの皆さまには、いろいろな意味でご協力いただくことがあるかと思っています。今後ともよろしく願いたします。今日はありがとうございました。

◎ 南高戦及び33例会を開催いたしました



4月18日第64回南高戦が開催されました。晴天と思ったら大変風の強い一日になりました。結果はなんと757対757、6で我が高知クラブは敗れてしまいました。やはり関パストガバナーが公務でお休みでしたので影響が大きいと「言われるだろうな〜」とみんなで反省しきりでした。



伝統の帽子を受け取られた南ロータリーの谷相様は「大切にこれから長期間お預かりします」と早くも連覇宣言をされていました。みなさん次回もどうかご参加宜しくお願い致します。



同時に行われました33会は前日にぎっくり腰(何をされていたか原因不明ですが)で針治療とコルセットをして参加した尾崎会員はドライバー・アプローチ・パター・酒量と全て安定して見事優勝をされ疲れがでる後半でも益々奮起されて大波賞までゲットされました。南高戦に敗れたショックで優勝の写真を撮り忘れてしまい、後日お気に入りのどや顔ショットを送ってくださいました。

◇ 例 会 変 更 ◇

高知東RC	4月28日	ロータリー休日(阪)	高知西RC	4月30日	ロータリー休日(三)
高知中央RC	5月 6日	ロータリー休日(城)	高知南RC	5月13日	ロータリー休日(阪)
高知ロイヤルRC	5月18日	ロータリー休日(旭)	高知西RC	5月21日	ロータリー休日(三)

※例会会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

 **ニコニコ箱**

- 西山 彰一 とても素敵な写真を撮っていただき感謝いたします。中村会長より季節のお花と農業後継者の方々の活躍のお話、嬉しいです。
- 竹下 篤範 来週の卓話に急遽TV解説でも皆さまご存知の吉川清志先生をお招きして、“新型コロナウイルス感染症について”と題したお話を伺うことといたしました。変異ウイルス株やワクチンのことなどについても、最近の知見を含めてお話いただけるものと思います。タイムリーで皆さま聞きたいこともあるかと存じます。ご期待ください。プログラム委員長の中田様にはご無理を申しました。スケジュールに割って入るような形になり、お詫び申し上げます。
- 右城 猛 佐川文庫庫舎前広場に広井勇銅像を建立し、4月17日小雨の中でしたが、無事除幕式を終えることができました。たくさんの皆さまのご協力にニコニコします。
- 中澤 清一 次年度の準備にあたって、たくさんの皆さまに大変お世話になっております。感謝を込めてニコニコします。
- 中澤 清一 } 一昨日の日曜日は南RCとのゴルフ対抗戦である第64回南高戦が開催されました。当クラブから15人の  
岡 亮助 } 選手団で臨みましたが、わずか0.6点の差で敗北を喫し、悔し涙を飲みました。これで33勝29敗1引き分  
武樋 泰臣 } け。次回、秋の戦いに向け、選手一同精進します。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございます。  
(33会幹事)
- 尾崎 典之 33会で優勝してしまいました。その2日前にぎっくり腰になってしまい、妻にバカじゃないのと言われましたが、針を打って出た甲斐がありました。ただ、南高戦でSさんが欠席されていたので、まずい思い頑張りましたが敗けてしまいました。指南料の支払いに行っていたかようになり申し訳ありません。
- 佐竹 新市 昨日、晴天の四万十町で東京五輪の聖火リレーをつなぐことができました。私はチームNTTのランナーで、NTTのスタッフの皆さんには大変お世話になりました。林支店長ありがとうございました。がんばれケサブ応援団長のキエルさん、お話ありがとうございました。ケサブ君はまだまだ大変な治療が続くようですが、多くの皆さんのご支援もあり、必ず元気になると信じています。ニコニコ。
- 日和崎 守 本日、大変光栄なことに東京2020オリンピック競技大会の聖火ランナーとして南国市を走ってまいりました。高知ロータリークラブの皆さまに「配信観たよ」や「お疲れ様でした」等の声をかけていただきありがとうございました。皆さま方の温かいお言葉に、一生に一度の貴重な経験が、さらに良いものになりました。



◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
4月20日	(-)84	60	16	1	79%
4月 6日	(-)84	55	11	9	85%

● 累計額 [4月20日現在]

ニコニコ箱	701,000円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	206,727円	ポリオ募金	249,900円
-------	----------	--------------------------------	----------	-------	----------

■ 次週のプログラム [5月4日]

祝日の為休会

◆ 5月11日のプログラム 会員スピーチ

翔栄興産(株) 代表取締役 河野弘訓 会員  
「仙台ロータリーを訪ねて」

創 立 昭和12年10月  
例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館6階  
TEL(824)8660 FAX(824)2529  
E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp  
HPアドレス http://www.221.ne.jp/kochirc/